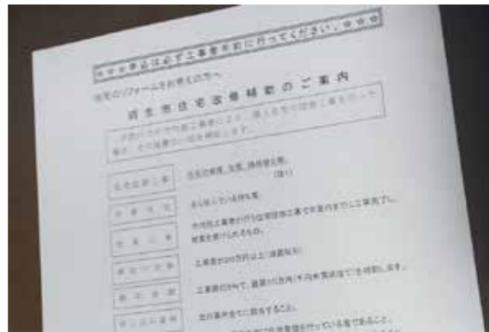




# 春夏秋冬

2021  
vol.24  
季刊発行

## eco 情報



### 「羽生市住宅改修補助金」 住宅リフォームを考えている方へ

工事費が20万円以上のリフォームで工事費の5%最高10万円の補助が受けられます。工事前に商工課に申請が必要になります。

補助金をお考えの方は当社までご連絡ください。

## ワン 王家 サイ 菜館

中田家の嫁、王さんが教える中国の家庭料理。ぜひ試してください。



file No.024 「蝦焼西蘭花」(エビとブロッコリー炒め)



#### ● 材料 (二人分)

蝦・・・4匹  
ブロッコリー・・・1房  
ネギ・・・5分の1  
生姜・・・少々

調味料・・・少々  
油・・・大さじ1  
酒・・・少々  
みりん・・・少々  
醤油・・・少々  
片栗粉・・・少々

#### ● 作り方

- 1、エビをお湯でゆでる。
- 2、ブロッコリーをお湯でゆでる。
- 3、油を入れネギと生姜を炒める。
- 4、エビとブロッコリーを加え炒める。
- 5、調味料、酒、みりん、醤油で味を調え水で溶いた片栗粉を加え出来上がり。

## 編集後記

コロナ禍の混乱から一年が過ぎましたが相変わらず終息の目途は立ちません。  
一年前に比べれば情報も多く、過度な緊張は無くなりましたが、今年もイベントの開催は難しいかもしれません。

### ソーラーサーキットの家



発行：有限会社 小山建設  
羽生市中央2-6-3 info@e-hous.co.jp  
☎048-561-6878 編集長：中田 新一



● web もご覧下さい  
<http://www.e-hous.co.jp/>

## 「省エネ住宅ですか？」



国土交通省では、温暖化や異常気象の対策として、住宅にも環境に配慮した省エネルギー化が求められています。

4月から住宅の省エネルギー化について建築士が建築主に説明する「説明義務」が法律で課せられます。

住宅の省エネルギー基準には断熱性能に関する基準とエアコン、給湯器等のエネルギー消費量基準の2つがあります。

高断熱・高気密に造られた家は、暖房や冷房が効率的に使用できます。

高効率な設備を備えることで、エネルギー使用量が少なくなります。給湯設備、高効率空調、太陽光発電、LED照明、熱交換型換気などがあげられます。

高気密・高断熱・高効率家電により省エネですので。光熱費などのランニングコストが下がります。

また高気密・高断熱の家は部屋の温度差が少ないので快適に生活できます。

各部屋の温度差が少ないということは、家族の健康づくりにもつながります。

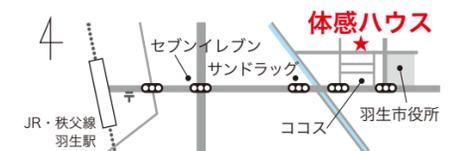
## イベント報告

小山建設は夏涼しく冬暖かい外断熱・二重通気工法「ソーラーサーキット」をおすすめしています！

## 冬の体感フェア

ご協力ありがとうございました。

今回来られなかった方は  
次回の開催をお待ちください。



羽生市東6-5-13 ☎048-563-1123

reform リフォーム

今回はリフォームの事例をご紹介します。リフォームはこれからの見据えた様々な見直しをする絶好のチャンスです。



羽生市の中心地で、かつては商いも盛んだったエリア、時代の流れと共に店舗併用住宅がギャラリー付住宅に衣替えしました。



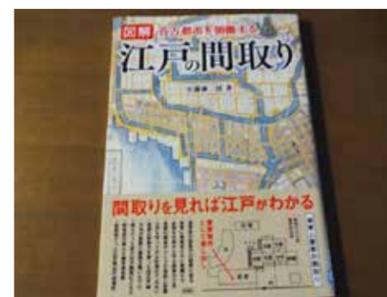
鉄骨3階建て、築40年以上、防水や水回りは完全に耐久年数を超えているため、まずは屋上の防水工事、外壁の耐水工事、そして水回りの撤去工事。



各階は極力段差をなくし、収納スペースを多く取りました。  
2階の倉庫だったところは、あまり手を入れずにギャラリースペースに。階段はカーペット仕上げだったので、撤去して塗装で仕上げました。  
台所は以前はとても狭かったので、収納を隣の部屋にはみ出すことで解決、浴室は2階だったので段差の少ないマンション仕様のユニットバスを入れました。  
2階の廊下は開口部がないので居室の開口をパーテーション仕立てにして光を取り入れました。玄関を入ったホールも大きなソファを置いてギャラリーとしてみんなが集える空間を作りました。



おすすめの書籍をご紹介します



「江戸の間取り」 彩図社 安藤優一郎著

江戸城、武家地、大名屋敷  
町人地、寺社地、江戸郊外  
江戸は武家地が70%、町人地が15%、寺社地が15%  
大火を教訓に防災都市化を進め、これにより江戸は急速に膨張する。  
郊外が宅地化され町人の人口が急増して百万都市へと成長する。

浅草寺には150を超える神仏が祀られており、それぞれの信者がひっきりなしに訪れたため、毎日が縁日の状態だった。境内には飲食店も多数並びショッピングセンターのような賑わいを見せた。

江戸時代の寺社は芝居や寄席などが催されるイベント空間だった。出開帳で成田山などの秘仏が公開されると人々は殺到し、関連グッズを買ったりして莫大な金を落としていった。

風が強くほこりをかぶりやすい江戸では安価に利用できる湯屋が人気を集めた。  
現代とは異なり湯で体を温めた後に流し場で体を洗った。  
男湯の脱衣所は2階にあり社交場として機能した。

江戸の町の発展が現代とリンクしていて、楽しく読むことができた。  
時代が変わっても人の営みは同じなのだと感じる一冊でした。

著者	安藤 優一郎 著 《歴史家、 文学博士(早稲田大学)》
発売日	2020年05月27日
ISBN	978-4801304550

匠の道具

「京仕上げ」

機械を通すとベテラン職人が鉋をかけたような仕上がりになる優れもの。  
建設現場では、なかなか材料を加工することは難しいので、現場から材料のリクエストが届くと、作業場でこの機械を使って一人で加工ができる。  
30年以上使用しているが鉋同様、絶えず刃の手入れは必要。  
お寿司屋さんや鰻屋さんから、まな板削りを頼まれるとこの機械が活躍する。  
作業場になくってはならない機械。

